

## 宮古大神島方言の格<素描>

2016/09/20

平成28年度 共同研究プロジェクト研究発表会「格と取り立て」  
金田章宏

はじめに

この発表は2013年8月から2016年8月まで11回にわたっておこなった大神島方言の調査から、名詞の格形式とその意味用法について概要をまとめたものである。現地での毎回の調査時間は2時間から4時間程度で、おもな話者は狩俣英吉氏(1925(T.14)年9月25日生)である。

まだ用例が少なく、詳細を論じることはできないので、<素描>としておく。とりたてをふくめたより詳細な記述については稿をあらためたい。

本稿における方言例の表記と音声との関係であるが、

- ・エ/ε は、長母音では基本的にひろいεであるが、短母音はそれよりもややせまい。ともにεでしめす。
- ・オー/o: はせまく、奥よりのウーにちかくきこえたりすることもある。例 花子は:hanako: ~ hanakɨ:
- ・gの摩擦音をŷでしめす。(トマ・ペラール氏はこれをuのウムラウト(本稿のɨ)とみる。)

例 おじいさん:upu:ŷa(upu=uŷa?), 鎌:ŷŷara (iŷa 父, iŷara 鎌:『琉球の方言』1977 pp.21-22)

・促音はすべて、qやQではなく具体的な音素で表記する。また、撥音は音韻的に区別する意味がないと判断される場合のみ、音声はn以外のばあいでもNを使用する。

例 新聞は:siNbunna (siNbuN=naではない)、新聞も:siNbuN=mai [sjimbummai]

・カナ表記では、子音連続と母音の無声化を!でしめすが、音素のみでしめすこともある。簡易音素表記では子音を連続させるか、無声化する母音のまえに!をいれる。

例 こと:フ!トゥ/ftu、ク!トゥ/k!utu、下駄を:アsタウ/astau、平良:ピ!サラ/plisara

- ・口蓋化したsは、母音をともなうときはsi、sje、sja、子音のみのときはsjでしめす。
- ・カナ表記ではɨやŷをふくむ音節をひらがなでしめす。

例 このまえ:クヌサク/kunusakɨ、鎌:つがラ/ŷŷara、

- ・ɨの無声音はsでしめす。(関係としては、hの有声音が母音であるのとおなじ?)

例 いつ:イク!/iks

・音調における上昇を[で、下降を]でしめすが、アクセントとイントネーションは区別できていない。  
・方言の対訳はできるだけ逐語訳にしたので、共通語として不自然なところもある。また、強調辞tuには機械的にゾをあてている。

### 0. 音声と音韻

トマ・ペラール(2011)「消えてゆく小さな島のことば」(NINJAL フォーラムシリーズ 日本の方言の多様性を守るために)の説明を引用する。

大神方言は宮古の中でもかなり独特で、発音の特徴が目立ちます。その特徴は日本語だけではなく世界の諸言語から見ても非常に珍しいものです。狩俣先生のお話にもありましたが、子音が/p・t・k・m・n・r・v・f・s/の9個しかありません。日本語の共通語や他の宮古方言はだいたい15個くらいはあるのですが、この方言には9個しかなく、おそらく日本列島の中で最も少ないと思います。それに「パ・タ・カ」と「バ・ダ・ガ」の区別がありません。濁音がこの方言にはなく、「開けろ」も「上げろ」も、両方とも「アキル」と言って、区別がありません。また珍しいのは子音の連続です。日本語にはなかなか子音の連続がありませんが、この方言にはたくさ

んあります。たとえば「土」のことを「mta」、「人」は「pstu」、「おでこ」は「ftai」、「二日」は「fkska」、「引っ張る」は「sapsks」と言います。

もっとも珍しいのは次の特徴です。普通の言語では「ア・イ・ウ・エ・オ」などのような母音を中心に単語が構成されるのですが、大神方言はその原理に反します。母音がまったくない、または声帯を振動させて発音される音も一切ない単語があります。たとえば「おっばい」のことは「kss」、「櫛」は「ff」、「作る」は「kff」と言います。これは非常に珍しい特徴で、私の知っている限りでは世界の中でこのような言語は他に2例しかなく、アジアでは他にありません。言語の一般理論にとっても非常に重要なことばなのです。

(2例とは、「モロッコのベルベル・Tashlhiyt 語とカナダの Nuxalk (Bella Coola) 語と Heiltsuk-Oowekyala 語」Nuxalk の a に'。(トマ・ペラーレ「日本列島の言語の多様性」田窪行則(編)2013『琉球列島の言語と文化——その記録と継承——』東京:くろしお出版, 81-92))

このように、基本的には「子音が p・t・k・m・n・r・v・f・s の 9 個」なのだが、実際の発話には v・f の対立もふくめて、つぎのような例がみられる。例外的なものかもしれないが、方言語彙とみられる例も存在する。共通語からとり入れた濁音をふくむ語彙は方言的に清音化することもあれば、しないこともある。

#### ○ff/vv

##### ・ff

ア[タマ]イ アメー [ツフ! トウ s ヤー? a[ta=malɪ ame: [ff=tu s ja:ʔ あしたも雨は降りゾするでしょ? ンマ[ピ] ッフィ。 Nma[pi] ffi. もっと降れ!

イミ]アミ]カーヌ[トウ ッ[フィー] ウ<sub>1</sub>. imi]=ami]=ka:=nu=[tu f[fi:] u<sub>1</sub>. 小雨がゾ降っている。

[アカ ッファク! サ イタントウ ア]<sub>1</sub>? [aka ffakssa ita N=tu a]<sub>1</sub>? おれの鉄はどこにゾある?

##### ・vv

ハナくー] くぬカラ[トウ] ヤミ [ネイツ]ヴィ ウ<sub>1</sub>. hanak<sub>1</sub>:] k<sub>1</sub>n<sub>1</sub>=kara=[tu] jami [niv]vi u<sub>1</sub>. 花子はきのうからゾ病気で寝ている。病んで寝ている。

ン[マピ] ネイツヴィーラティ。 N[mapɪ] nivvi:rati. もっと寝ている。まだ起きたくない。nivvi irati か?

ッヴァ] パリン[カイ] イキ。 vva] pari=N[kai] iki. [ara:] im=[kai] ikati. おまえが畑へ行け。

#### ○p/b

##### ・p

ウ[レー] ウプカ<sub>m</sub>. u[rɛ:] upukam. これは大きい。

ッヴァ] ピールー]ヌマ]ティ。 vva pi:ru: numalti. あなた、ビールを飲もうか。

##### ・b

ビラッフ[トウ] ク! ッフィ。 biraffu=[tu] kffi. かごをゾ作った。

ウ[レー] アカ] ボーシ。 u[rɛ: aka] bo:si. これは私の帽子だ。

ム[くグル]ボーシ mu[k<sub>1</sub>guru]=bo:si 麦藁帽子、ヤ[クバ ja[kuba] 役場、シンブン siNbuN 新聞、テレベー tɛrɛbe: テレビは、アキボー akibo: 某男性の愛称、オバー oba: おばあさん(宮古から?)

#### ○t/d

・t ッ[ヴァカ タフ!]ケーシ アッス。 v[va=ka taf]kɛ:=si assu. おまえが一人でやれ。

・d ダミントウ] ナリ。 dami=N=tu] nari. ダメにゾなった。

#### ○cj/zj

##### ・cj

ッヴァ] チャー]ヌ[マ]ティ? vva cja:] nu[malti]? あなた、お茶飲む?

##### ・zj

ウヌ] ぶ! カくヌ[トウ] ジョートー。 unu] pskak<sub>1</sub>=nu=[tu] zjo:to:. この日にちがゾいい。(宮古から?)

ジローヤ] ウプーガン[トゥ] ウがイ。 ziro:=ja] upu:ʔa=N=[tu] uʔai. 次郎はおじいさんにゾしかられた。  
 サンジェー] ナ<sub>1</sub> タウケ ペリ。 saNzje:] na<sub>1</sub>=tauke peri. 3時前に行け。 3時はなる前に？  
 イフ！クトウ マンジューヤ ア]？ ifku=tu maNzju:=ja a]？ いくつゾまんじゅうはある？

○k/g

・k

カヌ] カーッサ [ンマカタm]パく [ヤ]ー。 kanu] ka:ssa [Nmakatam]=pak<sub>1</sub> [ja]:. あの菓子はおいしかったんじゃないかな。

・g

ウ[レー] キ！チギ。 u[rɛ:] klicigi. これはきれいだ。(『琉球の方言』1977 pp.59-60にもある。)

ゲンノー]ヤ ウ[マントウ ア]<sub>1</sub>。 gɛNno:]=ja u[ma=N=tu a]<sub>1</sub>. 玄翁はここにゾある。

ム[くグル]ボーシ mu[kɪguru]=bo:si 麦藁帽子。

アッス[ガ] アラー キーヤ イ[カ]テーン。 assu]=[ga] ara: ki:=ja i[ka]te:N. そうだけど、私はきょうは行かない。

トゥー] アティ[ガー マータキ]ナ [イカ]ティ。 tu:] ati[ga: ma:taki]=na [ika]ti. さあ、それならいっしょに行こう。意志

ティ]ー アティ[ガー] ンナマ イカ。 ti:] ati[ga:] Nnama ika. さあ、じゃあいま行こう。勧誘

学校 gakkō:, 5時までに gozi]=ta:si, 8月 hacigacu, 英語 ε:go, 上着を uwagju:=pa:

## 1. 名詞の格形式

大神島方言の名詞の格形式には、ハダカ格、カ格、ヌ格、ユ格、ン格、ンカイ格、ンキ格、シ格、ンシ格、スイ格、トゥ格、カラ格、ターシ格、カミ格がある。順に意味用法と例をあげる。

### 1. 1 ハダカ格

名詞のハダカ格は文の部分として、主語、補語(対象語、目的語)、修飾語、状況語、述語、独立語として使用される。また主題をあらわしたり、並立の要素になったりもする。

#### 1. 1. 1 主語

○ひと主語

ンマ] アタンカイ トーキョン[カイ ファーウ] ミー[カ] イく！ クマタ。 Nma] ata=Nkai to:kjo:=N[kai fa:=u] mi:=ka] iks kumata. かあさん(は)あしたに東京へ子どもを見にいく予定だ。

ツヴァ] キーヤ サキーパ ヌ[マ]ティ？ vva] ki:=ja saki:=pa nu[ma]ti? あなた(は)きょうは酒をは飲む？

ツヴァ] ヌ[ペー] イ[タントウ ウタ]ー？ vva] ju[pe:] i[ta=N=tu uta]:? あなた(は)ゆうべはどこにゾいた？

一人称単数では、ハダカ格：アヌ、カ格：アカ、ja とりたて形：アラーのようにすべて語形がことなるが、二人称単数では、ハダカ格とja とりたて形がともにツヴァとなって、音声的にはその区別が困難である。(まれに、ja とりたて形で語形末母音が長音化することもある。)

○もの主語

ウ[マー イm]ヌ マイカーヤリ[パ うウ ンマカ]m。 u[ma: im]=nu maika:=jari[pa ɹwu Nmaka]m. ここは海が近いので、魚(が)うまい。

[ウヌ つがら タローカ [ム]ヌ？ [unu ʔʔara taro:=ka [mu]nu? この鎌、太郎のもの？

### 1. 1. 2 補語

補語はことさらに成立に参加する主語以外のメンバー（広義のモノ）である。ハダカ格があらわすのは対格に対応する直接補語が基本である。

アンタカ] ウプー[がー s トウムティカラ] イmカイ[トウ うウ] トウ<sub>1</sub> [カ イく!]タ<sub>1</sub>。aNta=ka] upu:[ŷa: stumuti=kara] im=kai=[tu<sub>1</sub>wu] tu<sub>1</sub>=[ka iks]ta<sub>1</sub>。うちのじいさんは朝から海へ魚(を)とりにいった。

ツヴァ チャー] ヌ[マ]ティ? vva cja:] nu[malti] あなた、お茶飲む?

ウヌ チャーヤ ナウヌ プサカ [イ]ラー? unu cja:=ja nau=nu pusa=ka [i]ra:? このお茶はいくらだろ  
うか? ja とりたて形

チャウ ヌ[ミ] ヤス[マ]ティ。 cja]u nu[mil] jasu[malti] お茶を飲んで休もう。対格  
[ツス] トウヌ[トウ ティン] トウピー ウ<sub>1</sub>。[ssu] tu:=nu=[tu tiN tupi: u<sub>1</sub>。白い鳥が空(を)飛んでいる。  
移動空間の補語でいいか? 鳥が空 tu<sub>1</sub>=nu=tu か?

### 1. 1. 3 修飾語

量や程度をあらわす。ようすの用例はみられなかった。

m[一ナ] プ[リ イ]リ。 m[:na] pu[ri ilri] みんなすわっている。

・tu とりたて形（格形式や mai とりたて形、te:N とりたて形にはつくが、ja とりたて形にはつかない。）

ウ[ヌ パクヌ ナカンナ イフ!クトウ マンジューヤ ア]<sub>1</sub>? u[nu paku=nu naka=nna ifku=tu  
maNzju:=ja a]<sub>1</sub>? この箱のなかにはいくつズまんじゅうはあるか?

### 1. 1. 4 状況語

できことが成立する<とき>をあらわす。

キー] アッス。 ki:] assu. きょうやれ。

くヌ] ン[ペーイ]タタm。 k<sub>1</sub>nu] N[pe:i]tatam. きのう(は)我慢できなかった。

ンナマ ウ]キテーン。 Nnama u]kite:N. いま(は)起きない。意志

クヌサ[く] イテ ウター<sub>1</sub> ぷ! トウヌトウ [ジョートー]ヤター<sub>1</sub>。 kunusa[k<sub>1</sub>] ite uta:<sub>1</sub> pstu=nu=tu  
[zjo:to:]jata:<sub>1</sub>。このまえ会った人がゾよかった。

アメー イク!] ッファティカ [イ]ラー。 ame: iks] ffati=ka [i]ra:。雨はいつ降るかなあ。

・tu とりたて形

くヌトウ] タロースイ イテーイ。 k<sub>1</sub>nu=tu] taro:=sui ite:i. きのうズ太郎と会った。

### 1. 1. 5 述語

名詞が述語になるとき、過去形ではコピュラ jata:<sub>1</sub> (だった) をともなうが、非過去ではコピュラをとまなわ  
ずにハダカで使用されるのが基本である。

ツ[ケー] アヌ。 cu[ke:] anu. つぎは私(だ)。ツは無声化しない。

カマ]ヌ[トウ] ヤクバ。 kama]=nu=[tu] jakuba. あそこがゾ役場(だ)。b 破裂が弱く p に近い。

ツ[ヴァタカ] ムヌ。 v[vata=ka] munu. あなたたちのもの(だ)。

イミぷ!]トウカー。 imi=ps]tu=ka:。 小さい人(だよ)。1 単語? 2 単語? ★masari(もつと)など可能か?

ウ[プ]イン。 u[pu]=in. 大きな犬(だよ)。1 単語? 2 単語? masari(もつと)など可能?

キーヤ ナウパシヌ ぷ!カく? ki:=ja naupasi=nu pska]k<sub>1</sub>? きょうはどういう日?

ン[ティ]カ[トウ ツヴァカ サ]ナ? N[ti]=ka=[tu vva=ka sa]na? どれがゾおまへの筈?

[タータカ ムヌ] ? [ta:ta=ka munu]? だれたちのもの?

### 1. 1. 6 独立語（呼びかけ）

代名詞二人称単数の例（勧誘）のみだった。

キューヤ ツ[ヴァ] マータキ] サキー ヌマティ。 kju:]=ja v[va ma:taki] saki: numati. きょうはあなた、い  
っしょに酒を飲もう。

ツヴァ] ピールー ヌマ]ティ。 [サキー ヌマ]ティ。 vva pi:ru: numal]ti. [saki: numal]ti. あなた、ビールを飲む

うか。酒を飲もうか。

### 1. 1. 7 主題

文の成分としては対格相当の補語であるが、文頭におかれて主題になっている。一般人称なので主語はないが、述語動詞とは隣接していない。

ウヌ ツフ ヌム ファウ アトゥントウ ヌm]? unu ffuY munu fau atu=N=tu num]? この墓、もの食べるあとにゾ飲むの? 食後に。対格 ffuY[Yu、ハとりたて ffuY[Ya

### 1. 1. 8 ならべ

タロー、ジロー、アヌ、ツヴァ taro: ziro: anu vva 太郎、次郎、私、あなた

### 1. 1. 9 くみあわせ動詞の要素

・～をする

シ!ケン ナー]シシ!ティートウ ウ[ティ] ネーン。sjkeN na:[si=sjti:=tu u[ti] ne:N. 試験(を)やってゾ落ちてしまった。

カ[ン]ポー [シ]トウ ウ<sub>1</sub>。ka[N]po: [si]=tu u<sub>1</sub>. 風邪(を)ひいてゾいる。風邪してゾいる。感冒  
アンタカ] ウガー ゴ[ジューネン]マイター[シェー] [イシヤ ア]シトウ ウター<sub>1</sub>。aNta=ka] uYa:  
go[zju:neN]=mai=ta:[sje:] [isja] si=tu uta:<sub>1</sub>. うちのお父さんは 50 年前までは医者(を)してゾいた。

・～になる

ンメ] ネーン フ!トウ ナ[リ] ネーン。Nme] ne:N ftu na[ri] ne:N. もうないこと(に)なった。なくなった。

アッス] ムナー [ネーン フ!トウ] ナリ。assu] muna: [ne:N ftu] nari. することはないこと(に)なった。

ンメ クーン フ!トウ] ナリ ウ<sub>1</sub>。Nme ku:N ftu] nari u<sub>1</sub>. もう来ないこと(に)なっている。もう来なくなっている。来ない・クーンの母音はかなり広くコーに近い。

ンメ] ユサラ[ピ] ナリ ウリ[パ] イカ[ティ]ペー<sub>m</sub>。Nme] jusara[pi] nari uri[pa] ika[ti]=pe:m. もう夕方(に)なったから帰ろうかな。行こうかな。<帰る>: 人称によって、一人称・イク?、二人称・ペル?

サンジ] ナ<sub>1</sub>ティ[カー] ペリ。saNzi] nanti=[ka:] peri. 3時(に)なってから帰れ。nanti は第二中止形か?

## 1. 2 カ格 主格=連体格 1

共通語のガ格、ノ格に対応する。基本的には ka であらわれるが、ときに ga でもあらわれる。文の部分としては主語、規定語(連体修飾語)になる。人称代名詞、ひと固有名詞、ひと名詞(親族語彙のみ?)、指示代名詞、疑問詞が主語や規定語になるときはこの形をとる。tu とりたて形になっても ka はたまたまれる。

### 1. 2. 1 主語

○人称代名詞

・一人称

ア[ガ ツヴァ]パ [ウが]ティ。a[ga vva]pa [uYa]ti. 私があなたをしかるよ。

<状況語節の主語>

アカ] アつがタウ<sub>1</sub> [ケ] ツヴァカ アぐリ。aka] aYya=taun [ke] vva=ka aYuri. 私が言わないうちにあなたが言え。=taunke でいいか?

・二人称

ツ[ヴァカ タフ!]ケーシ アッス。v[va=ka taf]ke:=si assu. おまえが一人でやれ。

・三人称

カ[リカトウ] ウルシ。ka[rika=tu] urusi. あの人がゾ下ろした。

<状況語節の主語>

ウ[リカ] ファウ[ケ]ター[シェー ファウ]ナ。u[ri=ka] fau[ke]=ta:[sje: fau]na. この人が食べるまでは食べるな。

○ひと固有名詞

ジローカ[トゥ] タローユ サーリ ペリ。 ziro:=ka=[tu] taro:=ju sa:ri peri. 次郎がゾ太郎を連れていった。

<状況語節の主語>

タローカ クータウ<sub>1</sub>[ケ] クー。 taro:=ka] ku:=taun]ke] ku:. 太郎が来ないうちに来い。

○ひと名詞・・・この1例のみ。オバーは宮古的か？ 大神方言ではウブンマ？

<規定語節の主語>

アンタカ オバーガ く!ふー] ムナー ナウ[マイ ンマ]カm。 aNta=ka oba:=ga ksfi:] muna: nau=[mai Nma]kam. うちのおばあが作るものはなんでもおいしい。

○指示代名詞

・ウ系

ウリカ[トゥ] ッヴァカ サナ。 u[ri]=ka=[tu] vva=ka sana. これがゾおまへの筈だ。

ウリカトゥ ン[マカm]ぱく [イラ]ー。 u[ri]=ka=tu N[makam]=pak<sub>1</sub> [ira]:. これがゾおいしそうだねえ。

・ク系

クリカトゥ] ンマカ<sub>1</sub>。 kuri=ka=tu] Nmaka<sub>1</sub>. これがゾおいしい。

・カ系

カリカ[トゥ] ヤクバ。 kari=ka=[tu] jakuba. あれがゾ役場だ。 b 破裂が弱く p に近い。

○疑問詞

ンティカトゥ ン[マ]カ<sub>1</sub>カ [イ]ラー。 Nti]=ka=tu N[ma]ka<sub>1</sub>=ka [i]ra:. どれがゾおいしいかなあ。

ヤーンナ ンティカトゥ] ア<sub>1</sub>カ [イ]ラー。 ja:=nna Nti]=ka=tu] a<sub>1</sub>=ka [i]ra:. 家にはどれがゾあるかなあ。

1. 2. 2 規定語

ひとをあらわす代名詞や固有名詞が基本で、質規定ドンナに対する関係規定ドノの用法にかぎられる。

○人称代名詞

・一人称

ア[カ] ムヌ[マイ] ウリ[トゥ] ユヌスイ。 a[ka] munu=[mai] uri=[tu] junu=sui. 私のものもこれとおなじだ。

アンタカ ウ[プー]がー [サキーマイ] ヌマン。 [タポコーマイ] フ!カン。 aNta=ka] u[pu:]ŷa: [saki:=mai] numaN. [tapoko:=mai] fkaN. うち(私たち)のじいさんは酒ものまない。たばこものまない。

・二人称

ン[ティ]カ[トゥ] ッヴァカ サナ? N[ti]=ka=[tu] vva=ka sa]na? どれがゾおまへの筈?

ッ[ヴァタカ] ムヌ。 v[vata=ka] munu. あなたたちのものだ。

・三人称

カリタカ フ!ター<sub>1</sub>[ガ] ンメ ヤカティ [ミートウン] ナ<sub>1</sub> クマタ。 karita=ka] fta:<sub>1</sub>=[ga] Nme jakati [mi:tu=N] na<sub>1</sub> kumata. 彼らの二人がもうやがて夫婦になるよ。

・疑問称

[ターカ ムヌ]? [ta:=ka munu]? だれのもの?

[タータカ ムヌ]? [ta:ta=ka munu]? だれたちのもの?

・ひと固有名詞

[ウヌ っがラ タローカ っ[が]ラ? [unu ŷŷara taro:=ka ŷ[ŷa]ra? この鎌、太郎の鎌?

・ときの状況語

キーカ マース[ン] アッス。 ki:=ka] ma:su=[N] assu. きょうのうちにやれ。

★kinu g° a ju: (昨晚) kinu nu ju:ともいう。 (『琉球の方言』1977 p.63)

1. 3 ヌ格 主格=連体格2

共通語のカ格、ノ格に対応する。基本的には nu であるが、これの tu とりたて形では N であられることもある。カ格との接点はひと名詞にあるが、カ格のほうはオバーの 1 例のみなので確認が必要。

### 1. 3. 1 主語

○ひと名詞

クトウトウ イツフ[ヌ チューガッコヌ シンシー]ン [ナリ。kutu=tu icu]hu=[nu cju:gakko:=nu siNsi:]=N [nari. 去年ゾいとこが中学校の先生になった。

・ヌ格の tu とりたて形

イツツフヌトウ ヤーヌ パナン/ワーブン フ!トウンヌ [プ]シエー<sub>1</sub>。icuffu=nu=tu] ja:=nu pana=N/ wa:pu=N ftunnu [pulsje:1. いとこがゾ家の屋根に布団を干してある。結果相

<規定語節の主語>

イシヤヌ トウラ s [タ<sub>1</sub>]/フィー[タ<sub>1</sub>] ツフっ[ぐ] ヌmティ[カー] ナ[ウ] <sub>1</sub>トウ ス。isja=nu] turas[ta<sub>1</sub>] /fi:[ta<sub>1</sub>] ffuY[yu] numti[ka:] na[u]<sub>1</sub>=tu su. 医者がくれた薬を飲めば、なおろずする。

○その他の名詞

ユピトウ アミヌ] ツフェー<sub>1</sub>。 jupi=tu ami=nu] ffe:1. ゆうべゾ雨が降ったようだ。降ってある。結果相  
ハナ[コー] シマンシ[トウ] ミパナヌ [ニ]ティ イウ。hana[ko:] Nma=Nsi=[tu] mipana=nu [ni]ti iu. 花子はかあさんにゾ顔が似ている。in か? niti は第二中止形か?

・ヌ格の tu とりたて形

イミアミカーヌ[トウ] ツフィ イ<sub>1</sub>。imi=a]mi=ka:=nu=[tu] ffi in. 小雨がゾ降っている。継続相  
ティヌトウ ヤmカタ<sub>1</sub>。ti:=nu=tu] jamkata<sub>1</sub>. 手がゾ痛かった。(主体の部分の状態: 感覚)  
ンティヌ] カーストウ シマカ<sub>1</sub>カ [イ]ラー。Nti=nu] ka:su=N=tu Nmaka<sub>1</sub>=ka [i]ra:. どのお菓子がゾおいしいかな。

ウヌ] ぶ!カクヌ[トウ] ジョートー。unu] pskak<sub>1</sub>=nu=[tu] zjo:to:. この日にちがゾいい。カレンダーを見て。  
カリカ く!タ<sub>1</sub>] パーヌ[トウ] ジョートー。kari=ka ksta<sub>1</sub>] pa:=nu=[tu] zjo:to:. あの人が来た時がゾいい。

<従属節の主語>

くヌー] カ[ティヌ] ウシ イリ[トウ] フネー [ク]タタ<sub>1</sub>。k<sub>1</sub>nu:] ka[ti=nu] usi iri=[tu] fune: [ku:]tata<sub>1</sub>.  
きのうは風が吹いていたからゾ、船は来なかった。

ウヌ ニーヌ イvカリパ フター<sub>1</sub>す ムティ く! [タ<sub>1</sub>。unu ni:=nu ivkaripa futā:1=s<sub>1</sub> muti ks[ta<sub>1</sub>. この荷物が重かったので、二人で持ってきた。フター<sub>1</sub>シ?

カ[ナマーヌ] ヤmカリパトウ ヌ[クイ] ウター<sub>1</sub>。ka[nama:=nu] jamkaripa=tu ju[kui] uta:1. 頭が痛いからゾ、休んだよ。(主体の部分の状態: 感覚)

・ヌ格の te:N とりたて形

サキヌ[テーン] ア]ティ[カー ナ]ウ[マイ] イラン。saki=nu=[te:N] a]ti[ka: na]u=[mai] iraN. 酒がだけあれば、なにもいらない。

<規定語節の主語>

アミヌ] ツf パーン[ナ] ウ[ブン] [マー] テレビーテーン[トウ] ミー ウ<sub>1</sub>。ami=nu] ff pa:=n[na] u[pu]=N[ma:] terebi:=te:N=[tu] mi: un. 雨の降るときには、ばあさんはテレビをだけ見ている。

カヌ ミーヌ ウ[プウ]ヌ ヌス ピキトウ] [マ タ]ル? kanu mi:=nu u[pu=upu=nu ssu pikitu]m[ma ta]ru? あの目の大きい、(色)の白い男はだれ?

イm[ヌ] マイ[カ<sub>1</sub>] トウ!クマヌ[トウ タウ]カ<sub>1</sub>。im=[nu] mai[ka<sub>1</sub>] t!ukuma=nu=[tu tau]ka<sub>1</sub>. 海の近いと  
ころがゾいい。

<受動文の主語>

イス!カクヌ[トゥ] くマイ ウ<sub>1</sub>. iskak<sub>1</sub>=nu=[tu] k<sub>1</sub>mai u<sub>1</sub>. 石垣がゾ組まれている。kumai か?

### 1. 3. 2 補語?

共通語のガ格補語 (～が好きだ、～がほしい) に対応するか。

アンタカ] ンマカ[ヌ]ンメー [カース]ヌ[トゥ] ンマサー ス。a<sub>1</sub>Nta=ka] Nmaka=[nu]=Nme: [ka:su]=nu=[tu] Nmasa: su. うちの孫たちはお菓子がゾ好きだ。うちの孫たちはお菓子がゾうまさする。ka:s]=nu=[tu か?

### 1. 3. 3 規定語

○関係規定

ジローヤ ウトウトウヌ サブロースイ[トゥ] ヤトウユン[ム] アシ。ziro:=ja ututu=nu saburo:=sui=[tu] jatujum[mu] asi. 次郎は弟の三郎とゾけんかをした。ひと主語

イツツフヌトゥ] ヤーヌ パナン/ワーブン フ!トゥンヌ [プ]シエー<sub>1</sub>. icuffu=nu=tu] ja:=nu pana=N/wa:pu=N ftunnu [pu]sje:~<sub>1</sub>. いとこがゾ家の屋根に布団を干してある。

mく!ヌ] m-ナカオ [ア<sub>1</sub>]く! [ナ. mks=nu] m:nakao [a<sub>1</sub>]ks[na. 道のまんなかを歩くな。

カマ[ヌ] パリター[シ] ア<sub>1</sub>カー。kama=[nu] pari=ta:[si] a<sub>1</sub>ka:. あそこの畑まで歩こう。

ンナマヌ] くブン[ナ] ア[メー] ッファン。Nnama=nu] k<sub>1</sub>pun[na] a[me:] ffaN. いまの時期は雨は降らない。

キーヌ] テレベー ウムッスッフア ネーンネイ[フ] ミーテーン。ki:=nu] terebe: umussuffa ne:Nni[pa] mi]:te:N. きょうのテレビはおもしろくはないから見ない。

○質規定

うウ]ユ- [マイ] イクむスヌ ミウヌトゥ ンマカ<sub>m</sub>. ~wu]=ju:=[mai] ik<sub>1</sub>m<sub>1</sub>su=nu miu=nu=tu Nmakam. 魚よりも動物の肉がゾおいしい。(魚に対する肉の方言はない。イクむスは動物。ミウは肉全般で、身か。)

アラ- タクヌ] ナマッストゥ [ファウ]プ sカ<sub>m</sub>. ara: taku=nu] namassu=tu [fau]puskam. おれはタコの刺身をゾ食べたい。

ヤーウヌ] パーン[ナ] ウブンママイトゥ [プ]トゥリ。ja:u=nu] pa:=n[na] upu=Nma=mai=tu [pu]turi. お祝いのときにはばあさんもゾおどった。

イ[ツツ[ファ] エーゴノ [シ]mく!パー [ユ]mトゥ [ス. i[cuf]fa] e:go=no [si]mks=pa: [ju]m=tu [su. いとこは英語の本を読みゾする。

### 1. 4 ヌ格 対格

共通語のヲ格に対応する。

#### 1. 4. 1 語形のタイプ (膠着か融合か)

長母音と二重母音おわりの名詞には ju が膠着し、短母音おわりの名詞では ju との融合がおこる。また子音おわりの名詞では子音が重複して母音 u でおわる。(類似の現象は ja とりたて形でもおこる。)

○長母音 ~V:+ju > ~V:=ju

・ ~i:+ju

ウ[ヌ] ニ-ユ ヤー]ター[シ] カタミ イ[キ] フィール。u[nu] ni:=ju ja:]ta:[si] katami i[ki] fi:ru. この荷物を家までかづいで行ってくれ。1音節語は長音化する?しやすい?

ティーユ] スミル。ti:=ju] sumiru. 手を洗え。ssmiru に近く聞こえる。

・ ~a:+ju (例は=u)

ンマ] アタンカイ トーキョン[カイ ファーウ] ミー[カ] イく! クマタ。Nma] ata=Nkai to:kjo:=N[kai fa:=u] mi:=ka] iks kumata. かあさん(は)あしたに東京へ子どもを見にい(予定だ)。

・ ~o:+ju

カ[ン]ポーユ [シ]トゥ ウ<sub>1</sub>. ka[N]po:=ju [si]=tu u<sub>1</sub>. 風邪をひいてゾいる。感冒をしてゾいる。



タ[ローユ サー]リ クー。 ta[ro:=ju sa:]ri ku:. 太郎を連れてこい。クー母音広め

・ ~<sub>1</sub>+ju

くー[ウ] カカティ。 k<sub>1</sub>:=u kakati. 字を書く。書こう。意志

くー[ユ] [トウ] カくー<sub>1</sub>。 k<sub>1</sub>:=ju=[tu] kak<sub>1</sub>:<sub>1</sub>. 字をゾ書いている。★kaki in か?

○二重母音 ~V<sub>1</sub>V<sub>2</sub>+ju

[ツヴァ ナウユ スマティ]? [vva nau=ju numati]? あなた、なにを飲む?

ナウ[ユ] [トウ] カくー<sub>1</sub>? nau:=ju=[tu] kak<sub>1</sub>:<sub>1</sub>? なにをゾ書いている? ★kaki in か?

動詞 動名詞(格語形になる)? ~名動詞(格支配をする)?

パ[リー] サウ[ウ] ユクイ。 pa[ri:] sau=[u] jukui. 烟をするのを休め。スルヲ

ム[ヌー] ファウユ [ナ]マリ。 mu[nu:] fau=ju [na]mari. ものを食べるのをやめろ。スルヲ

ム[ヌー] ファウユ[パー ナ]マリ。 mu[nu:] fau=ju=[pa: na]mari. ものを食べるのをはやめろ。スルヲバ

さきだつ名詞に対しては対格で格支配して動詞的にふるまいながら、つづく動詞に対しては対格となって名詞的にふるまう。「ゾウー鼻」型の入れ子式の対格二重表示か。

カ[ク] ムヌー [ナ]マリ。 ka[k<sub>1</sub>] munu: [na]mari. 書くのをやめろ。

ファウ] ムヌー[パー ナ]マリ。 fau] munu:=[pa: na]mari. 食べるのをはやめろ。

○短母音 ~V+ju > 融合いろいろ

・ ~i+ju > ~i: (i=iではない)

パ[リー] サウウ[パー ユク]イ。 pa[ri:] sau=u=[pa: juku]i. 烟をするのを休め。スルヲバ

サ[キー] ヌミ。 sa[ki:] numi. 酒を飲め。

ウ[リー]パー [カー]ティ。 u[ri:]pa: [ka:]ti. これをは買う。意志

ウ[ヌ] ウワギー[ドゥ] ウクナーン ニシエンエンシ カウ[タ<sub>1</sub>]。 u[nu] uwagi:=du uk<sub>1</sub>na:=N nisjeNeN=si kau[ta<sub>1</sub>]. この上着をゾ沖縄で二千元で買った。(ウワギューパー uwagju:=pa: 上着をは)

・ ~a+ju > ~au (a=uではない。fa:=uとはことなるとみるべき。)

チャ]ウ ヌ[ミ] ヤス[マ]ティ。お茶を飲んで休もう。 cja]u nu[mi] jasu[ma]ti.

カズコ[トウ] ユヌンシ[ヌ] ア<sub>s</sub>タウ ハナコンマイ [カイ] フィーティ。 kazuko=[tu] junu=Nsi=[nu] astau hanako=Nmai [kai] fi:ti. 和子とおなじ下駄を花子にもかかってやろう。

ミナカ]ウ サウく ッス。 minaka]u sauk<sub>1</sub> ssu. 庭を掃除しろ。 assu か?

ス!カマウ] アッス。 skamau] assu. 仕事をしろ。

ウマヌ] サカウ [ヌ]ウリ。 uma=nu] sakau [nu]uri. ここの坂をのぼれ。

アス!タウ] フミ] ミール。 astau] humi] m:ru. 下駄をはいてみろ。

mく!ヌ] mーナカオ ア<sub>1</sub>]ケー ダメ[ドー。 mks=nu] m:nakao a<sub>1</sub>]ke: dame=[do:. 道のまんなかをあるいてはいけない。ア<sub>1</sub>]ケー・・・中止形のヤとりたて? 対格名詞をとり、それ自身も名詞的にヤとりたてになる?

・ ~u+ju > ~u: (u=uではない)

パ[リー] サウ ムヌー ナマリ。 pa[ri:] sau munu: namari. 烟をするのをやめろ。

パクウ[トウ] ヤマシトウ ユ[クイ] ウター<sub>1</sub>。 pakuu=[tu] jamasi=tu ju[kui] uta:<sub>1</sub>. 足をゾ病んでゾ休んでいた。病ませゾ?

ピールー] ヌマ[ティ]パーm. [サキー] ヌマ[ティ]パーm. pi:ru:] numa[ti]=pe:m. [saki:] numa[ti]=pe:m. ビールを飲もうかな。酒を飲もうかな。

ツケー タルー (トウ) サーリ イカ]ティ? cuke: taru:=(tu) sa:ri ikalti? つぎはだれを (ゾ) 連れていくか?

・ $\sim_1 + ju > \sim_1$  ( $\sim_1$ ではない) 対格で長音化  $> \sim_1$ は母音  
 プ[カリ]カレー ミ<く> ヌマ。 pu[kari]kare: mi[k<sub>1</sub>:] numa. 疲れたから水を飲もう。  
く> カく!ス[パー] ナマリ。 k<sub>1</sub>: kakssu=[pa:] namari. 字を書くのをはやめろ。

○子音  $\sim C + ju > \sim C Cu$

・ $\sim f + ju > \sim ffu$   
 ビラッフ[トゥ] kツフィ。 biraffu=[tu] kffi. かごをゾ作った。

・ $\sim m + ju > \sim mmu$  (m=muではない) ★注  
 ジローヤ ウトゥトゥヌ サブローズイ[トゥ] ヤトウユン[ム] アシ。 ziro:=ja ututu=nu saburo:=sui=[tu]  
 jatujum[mu] asi. 次郎は弟の三郎とゾけんかをした。

動名詞～名動詞

サ[キー] ヌンム[パー] ナマリ。 sa[ki:] nummu=[pa: na] mari. 酒を飲むのをはやめろ。スルヲバ

・ $\sim N + ju > \sim nnu$  (n=nuではない)  
 イツッフヌトゥ] ヤーヌ ワーブン フ!トウンヌ [プ]シエー<sub>1</sub>。 icuffu=nu=tu] ja:=nu wa:pu=N ftunnu  
 [pulsje:<sub>1</sub>いとこがゾ家の屋根に布団を干してある。  
 ウヌ] フンヌ ユミ。 unu] hunnu jumi. この本を読め。

・ $\sim s + ju > \sim ssu$  (s=suではない)  
 アラー タクヌ] ナマッストウ [ファウ]プ s カム。 ara: taku=nu] namassu=tu [fau]puskam. おれはタコの刺  
身をゾ食べたい。  
 ウ<sub>1</sub>ヌ] ふ!ツす パッシンナ。 u<sub>1</sub>] psssn passiNna. その時の日を忘れるな。(～<sub>1</sub>は、<sub>1</sub>の鼻音化)

動名詞～名動詞

パ[リー] アッス[パー] ナマリ。 pa[ri:] assu=[pa:] namari. 畑をするのをはやめろ。スルヲバ  
 く>] カく!ス[パー] ナマリ。 k<sub>1</sub>: kakssu=[pa:] namari. 字を書くのをはやめろ。 kakss<sub>1</sub>? スルヲバ  
 く>] カく!ス [ナ]マリ。 k<sub>1</sub>: kakssu [na] mari. 字を書くのをやめろ。 kakss<sub>1</sub>? スルヲ

・ $\sim Y + ju \sim YYu$  (Y=Yuではない)  
 フ!フ<く>] ヌミ。 ffuYYu] numi. 薬を飲め。  
 イシャヌ] トウラ s [タ<sub>1</sub>] ツフ<く> ヌmティ[カー] ナ[ウ]<sub>1</sub> トウ ス。 isja=nu] turas[ta<sub>1</sub>] ffuY[Yu]  
 numti[k<sub>1</sub>:] na[lu]<sub>1</sub>=tu su. 医者がくれた薬を飲めば、なおろゾする。

○～ユパ

ヲバに対応する。とりたてて的か? パーがあると、より強める感じになる。

・ $\sim(j)u=pa:$   
 ヅヴァ] ウヌ うウヌ ナーウパー ヅシ[トゥ ウ? vva] unu <sub>1</sub>wu=nu na:=u=pa: sjsi=[tu u? おまえはこの  
 魚の名まえをは知ってづいるか。ウ<sub>1</sub>か?  
 アンタカ] ンマ[カー] マンジューユ[パー] カー]ウテーントゥ [ファウ。 aNta=ka] Nma[k<sub>1</sub>:]  
 maNzju:=ju=[pa: ka:] =u=te:N=tu [fau. うちの孫はまんじゅうをは皮をだけゾ食べる。

・ $\sim V:=pa:$

ウ[ヌ] ミ<く>[パー] ヌmナ。 u[nu] mik<sub>1</sub>:=[pa:] numna. その水をは飲むな。  
 サキーパー [マ<sub>1</sub>]シトゥ [kツフィー<sub>1</sub>。 saki:=pa: [ma<sub>1</sub>]=si=tu [kffi:<sub>1</sub>. 酒をは米でゾ作る。

・ ~nnu=pa:

ア[ラー] くぬー シンブンヌ[パー] [ユ]マタタm. a[ra:] k<sub>1</sub>m<sub>1</sub>: siNbunnu=[pa: [ju]matatam. おれはきのうは新聞をは読まなかった。

・ ~mmu=pa:

アラー] シーム[パー] [ファー。 ara:] m:]mu=[pa: [fa:N. おれはさつまいもをは食べないぞ。

・ ~ssu=pa:

ウ[ヌ] パナッス[パー] トウクンテーン[トウ] ッサシ。 u[nu] panassu=[pa:] tuk<sub>1</sub>=N=te:N=[tu] ssasi. その話をは妻にだけ聞かせた。

・ ~g ju:=pa:

ウ[ヌ] ウラギューパー ニシエンエンシトウ ウクナーカラ [カイ。 u[nu] uwagju:=pa: nisjeNεN=si=tu uk<sub>1</sub>na:=kara [kai. この上着をは二千元でゾ沖縄から買った。

○ ~パ(一)

ユ対格形の音をききもらしていることもかんがえられるが、少なくともはじめの例はパーのまえが無声化しているので、ハダカ形のこの形とみてよい。

イ[ツッ]ファ] エーゴノ シムく!パー [ユ]mトウ [ス。 i[cuff]fa] ε:go=no [si]mks=pa: [ju]m=tu [su. いとこは英語の本をは読みゾする。

トウクン] ユーぐ[パー] k ッファシ。 tuk<sub>1</sub>=N] ju:Yu=[pa:] kffasi. 妻に夕飯をは作らせる。

ファウ] ムヌパー [mーナ]トウ [ファイ。 fau] munu=pa: [m:na]=tu [fai. 食べるものをはぜんぶゾ食べた。

アン[シル] ムヌ[パ] タル[マイ] カ!カン。 aN[siru] munu=[pa] taru=[mai] k!akaN. そんなものをはだれも書かない。

ウリパー] カリマイトウ [ファ]ウ。 uri=pa:] kari=mai=tu [fa]u. これをはあいつもゾ食べるよ。

ウリ[パー] ユ[ケー] ネーン。 uri=[pa:] ju[kε:] ne:N. これをはあまり好きじゃない。人もものも。否定のみか。

ウ[リパー] ファーテーン。 ク[リパー] ファーティ。 u[ri=pa:] fa:te:N. ku[ri=pa:] fa:ti. これをは食べない。 これをは食べる。私は。ウリ>クリ

ウ[リパ ヌマテーン? > ン[マ]ユ [ヌ]マテーン。 u[ri=pa numate:N? > N[ma]ju [nu]mate:N. これをは飲まない? >いや、飲まない。

#### 1. 4. 2 意味用法

○動作の直接的な対象をあらわす

・ はたらきかけをうける対象

ウ[ヌ] ニー[ユ ヤー]ター[シ] カタミ イ[キ] フィール。 u[nu] ni:=[ju ja:]ta:[si] katami i[k]i fi:ru. この荷物を家までかついで行ってくれ。

ティーユ] スミ クー。 ti:=ju] sumi ku:. 手を洗ってこい。クー広い。

サタン] マー[スー ス]イル。 sata=N] ma:[su: su]iru. 砂糖に塩を混ぜろ。

イツッフヌトウ] ヤーヌ パナン/ワーブン フ!トウンヌ [プ]シエー<sub>1</sub>。 icuffu=nu=tu] ja:=nu pana=N/ wa:pu=N ftunnu [pu]sje:1. いとこがゾ家の屋根に布団を干してある。

アス!タウ] フミ] ミール。 astau] humi] m:ru. 下駄をはいてみる。

・ つくりだす対象

くー[ユ]トウ] カくー<sub>1</sub>。 k<sub>1</sub>:]=ju=[tu] kak<sub>1</sub>:1. 字をゾ書いている。★kaki in か?

ビラッフ[トウ] k ッファイ。 biraffu=[tu] kffi. かごをゾ作った。

トウクン] ユーぐ[パー] k ッファシ。 tuk<sub>1</sub>=N] ju:Yu=[pa:] kffasi. 妻に夕飯をは作らせる。

・やりとりする対象

ウ[ヌ] ウワギー[ドウ] ウクナーン ニシエンエンシ カウ[タ<sub>1</sub>。 u[nu] uwagi:=du] uk<sub>1</sub>na:=N nisjeNeN=si kau[ta<sub>1</sub>。 この上着をゾ沖縄で二千円で買った。

カズコ[トゥ] ユヌンシ[ヌ] ア<sub>s</sub>タウ ハナコンマイ [カイ] フィーティ。kazuko=[tu] junu=Nsi=[nu] astau hanako=N=mai [kai] fi:ti. 和子とおなじ下駄を花子にも買ってやろう。

ウリ[パー] タローカトゥ [フィー。 uri=[pa:] taro:=ka=tu [fi:]。 これをは太郎がゾくれたよ/やったよ。

・知覚・認識活動の対象

ンマ] アタンカイ トーキョン[カイ ファール] ミー[カ] イク! クマタ。Nma] ata=Nkai to:kjo:=N[kai fa:=u] mi:=ka] iks kumata. かあさん(は)あしたに東京へ子どもを見にいく (予定だ)。

ウ<sub>1</sub>ヌ] ぶ!ッす パッシンナ。u<sub>1</sub>] psss<sub>1</sub> passiNna. その時の目を忘れるな。

ウリ[パー] ヨ[ケー] ネーン。uri=[pa:] ju[ke:] ne:N. これをはあまり好きじゃない。人もものも。否定のみか。

ツヴァ] ウヌ うウヌ ナーウパー ツシ[トゥ ウ<sub>1</sub>? vva] unu <sub>1</sub>wu=nu na:=u=pa: sjsi=[tu u<sub>1</sub>? おまえ(は)この魚の名まえをは知ってゾいるか?

アミヌ] ッフ パーン[ナ] ウ[ブ]ン[マー] テレビーテーン[トゥ] ミー ウ<sub>1</sub>。ami=nu] ff pa:=n[na] u[pu]=N[ma:] terebi:=te:N=[tu] mi: u<sub>1</sub>. 雨が降るときには、ばあさんはテレビをだけゾ見ている。

・言語・思考活動の対象

ウヌ] フンヌ ユミ。unu] hunnu jumi. この本を読め。

ア[ラー] くぬー シンブンヌ[パー] [ユ]マタタm。a[ra:] k<sub>1</sub>n<sub>1</sub>: siNbunnu=[pa: [ju]matatam. おれはきのうは新聞をは読まなかった。

ウ[ヌ] パナッス[パー] トウクンテーン[トゥ] ツサシ。u[nu] panassu=[pa:] tuk<sub>1</sub>=N=te:N=[tu] ssasi. その話をは妻にだけゾ聞かせた。

・再帰的 ~を病む (病ます?)

パクウ[トゥ] ヤマシトゥ ユ[クイ] ウター<sub>1</sub>。pakuu=[tu] jamasi=tu ju[kui] uta:<sub>1</sub>. 足をゾ病んでゾ休んでいた。pakuu=[tu

ティーユ[トゥ] ヤマシ ユ[クイ] ウター<sub>1</sub>。ti:=ju=[tu] jamasi ju[kui] uta:<sub>1</sub>. 手をゾ病んで休んでいた。

○動作のかかわる場所

・とおりのく場所

ウマヌ] サカウ [ヌウリ] ミール。uma=nu] sakau [nuuri] mi:ru. ここの坂をのぼってみな。

mく!ヌ] mーナカオ [ア<sub>1</sub>]く[ナ/ア<sub>1</sub>]ケー ダメ[ドー。mks=nu] m:nakao [a<sub>1</sub>]k<sub>1</sub>[na. /a<sub>1</sub>]ke: dame=[do:。道のまんなかを歩くな/歩いてはいけない。

○形式的な意味をあらわす動詞とくみあわさって実質的な内容をになう

・具体名詞 (動作名詞)

ジローヤ ウトウトゥヌ サブロースイ[トゥ] ヤトウユン[ム] アシ。ziro:=ja ututu=nu saburo:=sui=[tu] jatujum[mu] asi. 次郎は弟の三郎とゾけんかをした。

ス!カマウ アッス。skamau] assu. 仕事をしろ。

カンポーユ [シ]トゥ ウ<sub>1</sub>。ka[N]po:=ju [si]=tu u<sub>1</sub>. 風邪をひいてゾいる。感冒をしてゾいる。

・動名詞(格語形になる)? ~名動詞(格支配をする)?

くー] カク!ス [ナ]マリ。k<sub>1</sub>: kakssu [na]mari. 字を書くのをやめろ。カク!す?

パ[リー] サウウ[パー] ユク]イ。pa[ri:] sauu=[pa: juku]li. 畑をするのをは休め。

サ[キー] ヌム[パー ナ]マリ。sa[ki:] nummu=[pa: na]mari. 酒を飲むのをはやめろ。

★つぎの例は、「私=ka あなた=ti たたくよ。」で、意味的には「あなた=ti」は対格相当と思われるのだが、このtiがなにであるのか、いまのところ不明である。

アガ ツヴァティ タタカティ。aga vvati tatakati.

アガ ツヴァティ タタカティツサヤ。aga vvati tatakatisajja.

## 1. 5 ン格 与格

niを出自とするが、~niであらわれることはない。~N おわりの名詞もそれにNがついて、N:となる。

ウレー イく!テー] ネー[ター] イティン。[くプ]ンー[トゥ] イティ イ<sub>1</sub>。ure: iks=te:] ne:[ta:] itiN. [k<sub>1</sub>pu]N:=[tu] iti in. これ(お化け)はいつとはなしには出ない。決まった時間帯にゾ出ている。いつでも出るわけではない。N=N=[tu か?

パリー] アスン[トゥ ジョ]ート。pari:] asuN:=[tu zjo:]to:. 畑をやるのにゾいい。アスパーントゥのほうがいい。アスン[トゥはアスに近い感じ。促音半分以下。N=N=[tu か?

この方言では、道具や手段、動作のおこなわれる場所など、共通語のデ格があらわすいくつかの意味をン格になっていて、デ格にちよくせつ対応する格形式はないようである。動詞の第二中止形・シテ形がないといわれることと関連するだろう。

### 1. 5. 1 補語

○やりとりのあいて

ウ[リーパー] タローン [フィー]ル。u[ri:=pa:] taro:=N [fi:]ru. これをは太郎にやって。あげて。依頼  
カズコ[トゥ] ユヌンシ[ヌ] ア s タウ ハナコンマイ [カイ] フィーティ。kazuko=[tu] junu=Nsi=[nu] astau  
hanako=Nmai [kai] fi:ti. 和子とおなじ下駄を花子にも買ってやろう。

○道具、手段 ★これをシ格=具格にすると、器の意味ではなく、まさに道具になる(下地理則氏)。

ウ[ヌ] サラン ファイ。u[nu] sara=N fai. この皿で食べる。

ウ[ヌ] マカン ファイ。u[nu] maka<sub>1</sub>=N fai. このお椀で食べる。

○受動や使役の対象=動作の主体

・受動文の動作の主体

サブローヤ ジローン[トゥ] パウシ タタカイ。saburo:=ja ziro:=N=[tu] pau=si tatakai. 三郎は次郎にゾ棒でなぐられた。

ジローヤ] ウパーがン[トゥ] タタカイ/ウガイ。ziro:=ja] upu:γa=N=[tu] tatakai/ uγai. 次郎はじいさんにゾたたかれた/しかられた。

ン[マントウ] ウガイ。N[ma=N=tu] uγai. お母さんにゾしかられた。×ンカイ

・使役文の動作の主体

トゥクン] ユーぐ[パー] k ファシ。tuk<sub>1</sub>=N] ju:γu=[pa:] k fasi. 妻に夕飯を作らせる。k f fasi?

カリン] アスミル。kari=N] asumiru. あの人にやらせろ。×ンカイ

・使役やりもらい文の動作の主体

ハナくー] ン[マ]ン[トゥ] ムヌー [フィー]スミ[タ]<sub>1</sub>。hanak<sub>1</sub>:] N[ma]=N=[tu] munu: [fi:]sumi[ta]<sub>1</sub>. 花子はかあさんにゾごはんを食べさせてもらった。くれしめた?

○能力のもちぬし

ッ[ヴァンナ ウレー] ファーイ[トゥ] ス? v[va=nna ure:] fa:i=[tu] su? あなたにはこれは食べられずする?

ア[ヌンナ ンメ ヌ]メイン。 a[nu=nna Nme nu]maiN. 私にはもう飲めない。

ヤ[ラピンナ カ]カイン。 ja[rapi=nna ka]kaiN. 子どもには書けない。

○ありか

・ある

ヤーンナ ンティカトゥ ア<sub>1</sub>カ [イ]ラー。 ja:=nna Nti=ka=tu] a<sub>1</sub>=ka [i]ra:. 家にはどれがゾあるかなあ。

カ[マンマイトゥ] パリヌ ア<sub>1</sub>。 ka[ma=N=mai=tu] pari=nu a<sub>1</sub>. あそこにもゾ畑があるよ。

・ない

アンシル] ムナー [ヤーンナ ネーン]ぱく。 aNsirul] muna: [ja:=nna ne:N]=pak<sub>1</sub>. こういうものは家にはないと思う。

ウ[マンナ] ネーン。 u[ma=nna] ne:N. ここにはないよ。

・いる

サンジ]ターシ [ウマン] ウリ。 saNzi]=ta:si [uma=N] uri. 3時までここにいる。

・いない

カレー] ヤーンナ [ミーン? kare:] ja:=nna [mi:N? あいつは家にいない?

・設置場所=ありか

イツツフヌトゥ] ヤーヌ パナン/ワーブン フ! トウンヌ [プ]シェー<sub>1</sub>。 icuffu=nu=tu] ja:=nu pana=N/ wa:pu=N ftunnu [pu]lje:<sub>1</sub>. いとこがゾ家の屋根のうえに布団を干してある。

○くつつくところ

ティーン]トゥ] ナウカラヌ[トゥ タ]パリ イ<sub>1</sub>。 ti:=N=tu] naukara:=nu=[tu ta]pari in. 手にゾなにかがゾついている。

サタン] マー[スー ス]イル。 sata=N] ma:[su: su]iru. 砂糖に塩を混ぜろ。

○移動先

・ひとの移動先

ウ[マン] キ!シ アッピ。 u[ma=N k'isi ap]pi. ここに来て遊べ。 k'isi は第二中止形か?

アタ[マイ] ウマン [く!シ] ヌミ。 ata=[mai] uma=N [kssi] numi. あしたもここに来て飲め。 Kssi は第二中止形か?

ウマ]ン プリ。 uma]=N puri. そこにしやがめ。 そこにすわれ。 移動不要か?

「行くの方向」の基本はンカイ格やンキ格で、ン格でいえるのは「来るの方向」が基本か? 移動先でウマはいいが、それ以外はどうか。 ↓ものではカマがいえる。

・ものの移動先

ウ[マン] ウス!く。 u[ma=N] usk<sub>1</sub>. ここに置け。

ウ[マンナ] ウス!クナ。 [カマ]ン/[カマ]ン[カイ] ウス!く。 u[ma=nna] uskuna. [kama]=N/[kama]=N [kai] usk<sub>1</sub>. ここには置くな。 あそこに置け。

○出現する場所

カ[マンナ] マクムヌトウ [イティ]₁。ka[ma=nna] mak₁munu=tu [iti]₁。あそこにはお化けがゾ出る。

カ[マンナ] マクムヌトウ [イティ]トウ ウタ₁。ka[ma=nna] mak₁munu=tu [iti]=tu uta₁。あそこにはお化けがゾ出てゾいた。

○結果やようす

ヨ[コン] ナラピル。jo[ko=N] nara]pi]ru。横に並べろ。ものを。ンカイ格のほうがよりいい。

カ[リスイ] ミートウン [ナ]プス!カm。ka[ri=sui] mi:tu=N [na]puskam。あの人と夫婦になりたい。

シンゴーヤ アウントウ ナリ。siNgo:=ja] au=N=tu nari。信号は青にゾなった。

ウ[リー] サンカ[クン] ス!クリ。u[ri:] saNka[ku=N] skuri。これを三角に切れ。×ンカイ

サ[チョーントウ] ナリ。sa[cjo:=N=tu] nari。社長にゾなった。×ンカイ

○基準 ンカイ格の基準とは違うか?

ウが[ン]トウ ニティ イ₁。u[ga]=N=[tu] niti in。お父さんにゾ似ている。ンカイは変。niti 第二中止形?

ウ[レー] パリー アス! パーナ [ダ]ミ。u[re:] pari: as pa:=nna [da]mi。これは畑をやる時にはダメだ。使えない。as でいい?

○動名詞/名動詞が評価的な意味をあらわす形容詞とくみあわさって実質的な内容になう

パリー アス<sup>ン</sup>トウ ジョ<sup>ン</sup>ト<sup>ン</sup>。pari:] asuN:=tu zjo:]to:。畑をやるのにゾいい。アスパ<sup>ン</sup>トウのほうがいい。アスはア<sup>ス</sup>に近い感じで、促音半分以下。=N=N?

## 1. 5. 2 状況語

○動作のおこなわれる場所

カ[マンナ] ヤラピヌトウ [アッ]ピ ウ₁。ka[ma=nna] jarapi=nu=tu [ap]pi u₁。あそこでは子どもがゾ遊んでいる。

パリン ア<sup>ス</sup>。pari=N] assu。畑でやれ。ここは家。

ン[タン] ファーティカ [イ]ラー。N[ta=N] fa:ti=ka [i]ra:。どこで食べようか。

ヨジカミ イエキン マティ イリ。jozi=kami] jeki=N mati] iri。4時まで駆でまっている。

ナカタ[ン] ファー。nakata]=N fa:。台所で食べよう。台所にいて。ありか的?

パリン マティ イリ。pari=N] mati i]ri。畑で待っている。畑にいて。ありか的?

ウ[マ]ン ファイ。u[ma]=N fai。ここで食べろ。ありか的?★ここでこの皿で食べろ、は?

ウ[ヌ] サラン ファイ。u[nu] sara=N fai。この皿で食べろ。

○動作のおこなわれるとき

ヤーウヌ パ<sup>ン</sup>ナ ウ<sup>ン</sup>マ<sup>ン</sup>マイトウ [プ]トウリ。ja:u=nu] pa:=n[na] upu=Nma=mai=tu [pu]turi。お祝いのときにはばあさんもゾおどった。

キーヤ [ナンジン]トウ ヤ<sup>ン</sup>カイ? ki:]ja [naNzi=N=[tu] ja:=Nkai? きょうは何時にゾ家に(帰ろうか)?

ウレー イく!テ<sup>ン</sup> ネ<sup>ン</sup>ター イティン。[くプ]ン<sup>ン</sup>トウ イティ イ₁。ure: iks=te:] ne:[ta:] itiN。[k₁pu]N=N=[tu] iti in。これはいつとはなしには出ない。(お化けは)決まった時間帯にゾ出ている。

## 1. 6 ンカイ格 方向格 ★<動詞ムカイ?

つぎの例のイm[カイ]は、mのあとでNkaiの撥音が脱落したようにもみえる。

アラ<sup>ン</sup> イm[カイ] イカティ。ara:] im=[kai] ikati。私は海に行く。

ふつうの発話ではンが聞こえにくいのが、ゆっくりしていねいに話すと、ンがあらわれるので、意識としてはあきららかに発話している。自然な発話では、ンは0~0.5程度。下の例でも、ン>ン<sup>ン</sup>は2拍分はなく、1.5拍程度である。

シ!ケン=カイトウ トウ]ーリ。sjkɛN=Nkai=tu tu]:ri. 試験にゾとおった。受かった。

(この点で、イケー=mn(むかしは)は、ja とりたて形で~na になっているため、ハダカの形がイケー=mnで、ン格イケー=mn=N(むかしに)のja とりたて形とみられるが、ゆっくり発話してもイケー=mnのままである。)

・ンカイは、ことなる意味で2箇所にあられうる。

カーチャン[ナ] マッチャンカイ[トウ カ]ムヌン[カイ イク!]タ 1. ka:cjan[na] maccja=Nkai=[tu ka]munu=N[kai iks]ta1. かあさんは市場へゾ買物に行った。

ンマ] アタンカイ トーキョン[カイ ファーウ] ミー[カ] イク! クマタ。Nma] ata=Nkai to:kjo:=N[kai fa:=u] mi:= [ka] iks kumata. かあさんはあしたに東京に子どもを見にいく(予定だ)。

・ンにはみられない連体形がある。

[オーサカカラ トーキョー=ンカイヌ ウンツンナ ナウヌ プ]サ? [o:saka=kara to:kjo:=Nkai=nu uNcunna nau=nu pu]sa? 大阪から東京への運賃はいくら(だろう)か?

この格の使用には基本的にはなんらかの方向性が必要なようである。存在的な「車に乗っている」ではンカイ格が不自然で、方向性のある「車に乗れ」ではぎゃくにン格が不自然になる。

クルマン] ヌーリ イリ。kuruma=N] nu:ri iri. 車に乗っている。方向性ナシ~弱い。

クルマンカイ] ヌーリ。kuruma=Nkai] nu:ri. 車に乗れ。方向性アリ。

#### 1. 6. 1 間接補語

○くつつくところ

ティ=ンカイトウ] ナウカラーヌ [タ]パリ イ 1. ti:=Nkai=tu] naukara:=nu [ta]pari in. 手にゾなにかがついている。

サタンカイ] マー[スー ス]イル。sata=Nkai] ma:[su: su]iru. 砂糖に塩を混ぜる。

○移動の到着点

・ひとの移動

ンマ] アタンカイ トーキョン[カイ ファーウ] ミー[カ] イク! クマタ。Nma] ata=Nkai to:kjo:=N[kai fa:=u] mi:= [ka] iks kumata. かあさんはあしたに東京へ子どもを見にいく(予定だ)。

ア[ター ピ!サ]ラン[カイ イカ]ティ。a[ta: plisa]ra=N[kai ika]ti. あしたは平良に行く。意志。

ナカタン[カ]イ イキ。nakata=N[kai] iki. 台所に行け。

ッ[ヴァ] アーラン[カ]イ イキ。v[va] a:ra=Nkai] iki. あなたは外に行け。

<行く>の方向だけでなく、<来る>の方向にも使用される。

ウ[マンカイヤ] く!スナ。u[ma=Nkai=ja] kssuna. ここには来るな。

ア[ラー] ンメ ウマンカイヤ [クー]テーン。a[ra:] Nme uma=Nkai=ja [ku:]te:N. 私はもうここには来ない。

単純に行き先のみで意志や勧誘のばあい、述語動詞が省略される。ややぶっきらぼうな表現になる。

ア[ター イ]mカイ。a[ta: i]m=kai. あしたは海に(行く)。意志

ア[ター ピ!サ]ラン[カイ。a[ta: plisa]ra=N[kai. あしたは平良に(行く)。意志

トウ= ン]メ ヤーン[カ]イ。tu: N]me ja:=N[kai. さあ、もう家に(帰ろう)。勧誘

・ものの移動

ウ[マンカイ] ウス!く。u[ma=Nkai] usk1. ここに置け。

ウ[マンカイヤ] ウス!クナ。u[ma=Nkai=ja] uskuna. ここには置くな。

ウ[ヌ] フ!クルンカイ ウリル。u[nu] h!ukuru=Nkai uriru. この袋に入れろ。×ン



○動作の目的

カーチャン[ナ] マッチャンカイ[トゥ カ<sub>1</sub>]ムヌン[カイ イく!]タ<sub>1</sub>. ka:cjan[na] maccja=Nkai=[tu ka<sub>1</sub>]munu=N[kai iks]ta<sub>1</sub>. かあさんは市場へゾ買物に行った。

ス!カマンカイトゥ] ペリ。skama=Nkai=tu] peri. 仕事にゾ行った。お父さんは?と聞かれて。×ン 動作の目的でンが不自然なのは、方向性とかかわるか。★へしに来た、は?

○心のむかう対象

ウ[ヌ] ファー[ヤ ゲームンカイ[トゥ] ムチューン ナリ イ<sub>1</sub>. u[nu] fa:=[ja ge:mu=Nkai=[tu] mucju:=N nari in. この子どもはゲームにゾ夢中になっている。ンでも通じるが少し変。

ツ[ヴェンカイトゥ] サンセイ。v[va=Nkai=tu] saNsei. あなたにゾ賛成だ。セはやや口蓋化。ン変。

○成就の対象

タイカクンカイ[トゥ トウ]ーリ。taikaku=Nkai=[tu tu]:ri. 大学にゾ受かった。とおった。ン変。

シ!ケンーカイ トウ トウ]ーリ。sjkeN=Nkai=tu tu]:ri. 試験にゾとおった。へん+ンカイ=ンンカイ>ンーカイ ティンマウ]キンカイ[トゥ シツパイ]ヤ[シ。tiN=mau]ki=Nkai=[tu sippai]=ja[si. 金儲けにゾ失敗した。ン変。

○結果やようす

シンゴーヤ] アウンカイ トウ] ナリ。siNgo:=[ja] au=Nkai=tu] nari. 信号は青にゾなった。

ヨ[コンカイ] ナラ]ピル。jo[ko=Nkai] nara]pi[ru. 横に並べろ。ものを。

mーナシ] ヨ[コンカイ] ナラ]ピ。m:na=si] jo[ko=Nkai] nara]pi. みんなで横に並ぼう。

○基準 ン格の基準とは違いがありそうだ。

イmン[カイ] マイカ<sub>1</sub> トウ!クマヌ[トゥ タウ]カ<sub>1</sub>. im=N[kai] maika<sub>1</sub> t!ukuma=nu=[tu tau]ka<sub>1</sub>. 海に近  
いところがゾいい。

ウ[レー] ス!カマンカイ[トゥ] ジョー トー。u[re:] skama=Nkai=[tu] zjo:to:. これは仕事にゾいい。役に立つ。  
ン変。

1. 6. 2 状況語

○動作のおこなわれるとき

未来のうち、いまのところアタ、アサティのみで確認。未来という方向性とかかわるか。また、肯定のみか。  
ア[タンカイ] ムティ イカティ。a[ta=Nkai] muti ikati. あしたに持っていく。

アラー] ア[タン]カイ ッヴァ[スイ サキー ヌ]マ[ティ]ペー m. ara:] a[ta=N]kai vva=s[sui saki: nu]ma[ti]=pe:m. 私はあしたにあなたと酒を飲んだったかな。=ssui でいい?

アター] イカイン。ア[サティンカイ] イカティ。ata:] ikaiN. a[sati=Nkai] ikati. あしたは行けない。あさって  
に行く。

★ata ŋkai ku: d i (明日こよう) (『琉球の方言』1977 p.96)

未来であっても時刻には使用されないようである。

キー]ヤ] [ナンジン] トウ] ヤーンカイ? ki:]=ja [naNzi=N=[tu] ja:=Nkai? きょうは何時にゾ家に (帰ろ  
うか) ?

ゴジン] ウキル。gozi=N] ukiru. 5時に起きろ。未来だが、×ンカイ

当日=近い未来や過去で使用されないかは未確認。

キー] アッス。ki:] assu. きょうやれ。

くヌ イティ] トウ] ウタ<sub>1</sub>. k<sub>1</sub>nu iti]=tu uta<sub>1</sub>. きのう出て ゾいた。お化けが。

1. 7 ンキ格 ★<動詞イキ? ★否定文やtu トゥとりたては可能か?

動作のおこなわれる場所をあらわす。ただし、その場所はココからはなれた場所である。

カマ]ンキ ファイ。kama]=Nki fai. むこうで食べろ。ここにいる人に。

パリンキ] アッス。pari=Nki] assu. 畑でやれ。スは広めで丸口。ここは家。

ン]タンキ] ファーティカ [イ]ラー。N[ta=Nki] fa:ti=ka [i]ra:. どこで食べようかな。意志

ナカタ]ンキ ファー。nakata]=Nki fa:. 台所で食べよう。勧誘。

ティー] ガッコン]キ アッパ。ti:] gakkon:=N[ki appa. さあ、学校で遊ぼう。勧誘。

ほかの琉球方言にもみられる、「行き」が場所の格助辞化したものか。

1. 8 シ格 具格 ★<動詞シ? 使役に使えるか? シ格の道具の用法との違いは?

○材料、原料

サキパー] マ]シトウ [ク!ツフィー<sub>1</sub>。saki:=pa: [ma:]]=si=tu [kffi:]<sub>1</sub>. 酒をは米でゾ作る。

ウ]ヌ キー]シ ク!ツフィ。u[nu ki:=si] kffi. この木で作れ。

ウ]リシ] ク!ツフィ。u[ri=si] kffi. これで作れ。材料?道具?

○道具

サブローヤ] ジローン]トウ] パウ]シ タタカイ。saburo:=ja ziro:=N=[tu] pau=si tatakai. 三郎は次郎にゾ棒でなぐられた。

ウ]ヌ ウメツ]シ ファイ。u[nu] umes=si fai. この箸で食べろ。

ティー]シ ファイ。ti:]=si fai. 手で食べろ。

ウ]リシ] アッス。u[ri=si] assu. これでやれ。道具を渡して

イ]ケー<sub>m</sub>ナ] ウリ]シトウ [アッ]プタ<sub>1</sub>。i[kε:mna] uri=si=tu [ap]puta<sub>1</sub>. むかし(に?)はこれでゾ遊んだよ。

○手段、方法、ようす

ウ]ヌ ウワギー]ドウ] ウクナーン] ニシエンエン]シ カウ[タ<sub>1</sub>。u[nu] uwagi:=[du] uk<sub>1</sub>na:=N nisjeNeN=si kau[ta<sub>1</sub>. この上着をゾ沖縄で二千円で買った。

ツ]ヴァカ] タフ!]ケーシ] アッス。v[va=ka taf]kε:=si assu. おまえが一人でやれ。

ウ]ヌ ニーヌ] イ]カリイリ/イ]カリパ] フター]す ムティ] き![タ<sub>1</sub>。unu ni:=nu ivkariiri/ivkaripa futa:]<sub>1</sub>=s<sub>1</sub> muti ks[ta<sub>1</sub>. この荷物が重かったので、二人で持ってきた。futa:]<sub>1</sub>=si か?

ウ]リーパー] m-ナ]シ] ヨ[コンカイ] ナラ[ピ。u[ri:=pa:] m:na=[si] jo[ko=Nkai] nara[pi. これをはみんなで横に並べよう。ものを。

○時間 境界点? ★上記の用法は古典語「し」にもあるが、この用法はない(鈴木泰氏より)。

ク]ヌシ]トウ] [ミー<sub>1</sub>ク<sub>1</sub>ン] ナリ。k<sub>1</sub>nu=si]=tu [mi:ks=N nari. きのうでゾ三つになった。年齢

1. 9 ンシ格 (類似) ★動詞ニセ? 格形式に位置づけていいか?

ウ]レー] マクムヌシ]トウ] ミーライ] ウ<sub>1</sub>。u[rε:] mak<sub>1</sub>munu=Nsi=[tu] mi:rai u<sub>1</sub>. これはお化けにゾ見える。見えている。

ヤラピヌ] クインシ]トウ] く!ス!カイ] ウ<sub>1</sub>。jarapi=nu] kui=Nsi=[tu] ksskai u<sub>1</sub>. 子どもの声にゾ聞こえている。聞こえる。

ハナ]コー] ンマンシ]トウ] ミパナス] [ニ]ティ] イ<sub>1</sub>。hana[ko:] Nma=Nsi=[tu] mipana=nu [ni]ti i<sub>1</sub>. 花子はかあさんにゾ顔がよく似ている。

以下はこれの連体形の例でいいか。これの連用形はあるか。

ウ]リンシ]ヌ] ふ!トウ] u[ri=Nsi]=nu pstu こういう人、そういう人

カ[リンシヌ] ぶ! トウア ダ[ミ。 ka[ri=Nsi=nu] pstua da[mi. ああいう人はダメだ。 さっきあった人  
ア[ンシヌ] ムヌドウ [ジョー] トー。 a[Nsi=nu] munu=du [zjo:]to:. そういうものがズいいな。もの。

以下の例もこれに関連するか。

アンシ△ル] ムナー [ヤーン]マイトウ [ア<sub>1</sub>]パク。 aNsiru] muna: [ja:=N]=mai=tu [a<sub>1</sub>]=pak<sub>1</sub>. こういうもの  
は家にもズあると思うよ。

アンシ△ル] ムナー [ヤーンナ ネーン]パク。 aNsiru] muna: [ja:=nna ne:N]=pak<sub>1</sub>. こういうものは家にはな  
いと思うよ。

### 1. 10 スイ格 共格1 ★<動詞ソエ? 関係のあいては?

○いっしょにするなかま

ウヌ] ファー[スイ] アッピ。 unu] fa:=[sui] appi. この子どもと遊べ。

カレー] キー[ヤ タウカラス]イ[トゥ] サキー ヌ[ミ] ウ<sub>1</sub>. kare:] ki:=[ja taukara:=sui]i=[tu] saki: nu[mil]  
u<sub>1</sub>. あいつはきょうはだれかとゾ酒を飲んでいる。

アラー] ア[タン]カイ ツヴァ[スイ] サキー ヌ]マ[ティ]ペー。 ara:] a[ta=N]kai vva=s[sui saki:  
nu]ma[ti]=pe:m. 私はあしたにあなたと酒を飲むんだったかな。 s[sui]でいい?

○相互動作のあいて

ジローヤ ウトウトウヌ サブロースイ[トゥ] ヤトウユン[ム] アシ。 ziro:=ja ututu=nu saburo:=sui=[tu]  
jatujum[mu] asi. 次郎は弟の三郎とゾけんかをした。

カ[リスイ] ミートウン [ナ<sub>1</sub>]プス! カム。 ka[ri=sui] mi:tu=N [na<sub>1</sub>]puskam. あの人と夫婦になりたい。

くヌトゥ] タロースイ イテーイ。 k<sub>1</sub>nu=tu] taro:=sui ite:i. きのうゾ太郎と会った。 ×ンカイ、 ×ン  
mくン[トゥ] ガッコー[ヌ] シェンシエー[スイ] イ[テ] ウ[タ]<sub>1</sub>. mk<sub>1</sub>=N=[tu] gakko:=[nu] sjeNsje:=[sui] i[te]  
u[ta]<sub>1</sub>. 道でゾ学校の先生と会った。

### 1. 11 トウ格 共格2 ★スイ格の sui=tu はあるが、トウ格の tu とりたて形はあるか?

○いっしょにするなかま

]タロー トウ アップタ<sub>1</sub>. ]taro:=tu apputa<sub>1</sub>. 太郎と遊んだ。

タローー[トゥ] マータキ サキー ヌ]マ[ティ。 taro:]=[tu] ma:taki saki: nu]ma[ti. 太郎といっしょに酒を飲も  
う。意志

○相互動作のあいて

mくン[トゥ] ガッコー[ヌ] シェンシエー[トゥ] イ[テ] ウ[タ]<sub>1</sub>. mk<sub>1</sub>=N=[tu] gakko:=[nu] sjeNsje:=[tu] i[te]  
u[ta]<sub>1</sub>. 道でゾ学校の先生と会った。

くヌトゥ] タローー[トゥ] イテーイ。 k<sub>1</sub>nu=tu] taro:=[tu] ite:i. きのうゾ太郎と会った。

○関係のあいて

ア[カ] ムヌ[マイ] ウリ[トゥ] ユヌスイ。 a[ka] munu=[mai] uri=[tu] junu=sui. 私のものもこれとおなじだ。

アン[マイ] イ[ケー]ムナ ツヴァ[トゥ] ユ[ヌ]スイ トウ ヤター<sub>1</sub>. aN[mai] i[kε:mna vva]=tu ju[nu]=sui=tu  
jata:<sub>1</sub>. 私もむかしはあなたとおなじゾだった。

ア[カ] ムヌ[ア] ウリトウ [キタ]ティ。 a[ka] munu[a] uri=tu [kita]ti. 私のものはこれと違う。

### 1. 12 カラ格 奪格 ★手段はあるか? 船カラ行く

○やりとりのあいて

ウリ[パー] タローカラ トウ ム[ラ]イ。 uri=[pa:] taro:=kara=tu mu[ra]i. これをは太郎からゾもらったよ。

[ウレー タルカラ トウ ム[ラ]イ? [ure: taru=kara=tu mura]i? それはだれからゾもらった?

○時間 開始点

アンタカ] ウプー[がー s トウムティカラ] イmカイ[トゥ うウ] トウ 1[カ イく!]タ 1. aNta=ka] upu:[ŷa: stumuti=kara] im=kai=[tu 1wu] tu1=[ka iks]ta1. うちのじいさんは朝から海へ魚(を)とりにいった。ハナくー] くぬカラ[トゥ] ヤミ [ネイツ]ヴィ ウ1. hanak1:] k1n1=kara=[tu] jami [niv]vi u1. 花子はきのうから病気でねている。病んで。hanako: か。

ンマカー] クトウカラ [トーキョーン]トゥ [ウー。Nmaka:] kutu=kara [to:kjo:=N]=tu [u: 孫は去年から東京にづいる。u1 か?

ウ~]カラ[トゥ。u~]=kara=[tu. そのときからづ。

○空間 範囲の開始点

ウ[マカラ] カマターシ [カ]ティ。u[ma=kara] kama=ta:si [ka]ti. ここからここまで耕そう。kkati?

カ[マカラ] ウマターシ ka[ma=kara] uma=ta:si ここからここまで

○空間 移動の出発点

[ンマカー イく! トウ トーキョーカラ く!す! クマ]タ? [Nmaka: iks=tu to:kjo:=kara kss!1 kuma]ta? 孫はいつづ東京から帰るか? 来る予定か。

パリカラ] トウリ クー。pa|ri=ka[ra] turi ku:. 畑から取ってこい。クー母音広め

○空間 移動の経由点

ウマヌ] mく!カラ [イ]く。uma=nu] mks=kara [i]k1. この道から行け。iki か?

○基準

ウ[マカラ] イン[マ マイ]カー。u[ma=kara:] im[ma mai]ka:. ここからは海は近い。maika1?

ウ[マカラ] インマ ウ[テー。u[ma=kara:] imma u[te:. ここからは海は遠い。

1. 13 ターシ格 限界格1

つぎのカミ格とともに、「まで」に対応する終了点と「までに」に対応する限界点の両方に使用される。文脈によって区別されるようである。

○時間 終了点

ヨジ]ター[シ イエキン マティ] イリ。jodzi]=ta:[si jeki=N mati] iri. 4時まで駅で待っている。

ア[サティ]ター[シ] ウ[マン] ウリ。a[sati]=ta:[si] u[ma=N] uri. あさってまでここにいろ。

アンタカ] ウがー ゴ[ジューネン]マイター[シエー] [イシャ ア]シトゥ ウター1. aNta=ka] uŷa: go[zju:neN]=mai=ta:[sje:] [isja a]si=tu uta:1. うちのお父さんは 50年前までは医者をしてづいた。

以下は動詞の例。

タローカ] く!ス![ケ]ター[シ] ウス! [キ イ]キ。taro:=ka] kss[ke]=ta:[si] us[ki i]ki. 太郎が来るまで、置いておけ。

ウ[リカ] ファウ[ケ]ター[シエー] ファウ]ナ。u[ri=ka] fau[ke]=ta:[sje: fau]na. この人が食べるまでは食べるな。ケは広い。

ア[カ] アぐケターシエー アぐ]ナ。a[ka] aŷuke=ta:sje: aŷuna. 私が言うまでは、言うな。

○時間 限界点

ア[タ]ター[シ] イタシ。ata]=ta:[si] itasi. あしたまでに出せ。書類などを。

ア[サティ]ター[シ] イタス! クマタ。a[sati]=ta:[si] itas kumata. あさってまでに出すべきだ。出さなければならぬ。予定など。

ゴジターシ [ンキ]タカー (ナラン)。gozi=ta:si [Nki]taka: (naraN). 5時までに帰らなくては(ならない)。  
ぷ!スマターシ アッス。pssuma=ta:[si] assu. 昼までにやれ。マデ?マデニ?  
ユ[サ]ラ[ピ]ターシ アッス。ju[salra]pi=ta:[si] assu. 夕方までにやれ。マデ?マデニ?

○空間 範囲の終了点

ウ[マカラ] カマターシ [カ]ティ。u[ma=kara] kama=ta:si [ka]ti. ここからここまで耕そう。kkati?

○空間 移動の到着点

ウ[ヌ] ニー[ユ ヤー]ター[シ] カタミ イ[キ] フィール。u[nu] ni:=[ju ja:]=ta:[si] katami i[ki] fi:ru. この荷物を家までかついで行ってくれ。

カマ[ヌ] パリターシ ア<sub>1</sub>カー。kama=[nu] pari=ta:[si] a<sub>1</sub>ka:. あそこの畑まで歩こう。

### 1. 14 カミ格 限界格2

○時間 終了点

ヨジカミ イェキン マティ] イリ。jozi=kami] jeki=N mati] iri. 4時まで駅で待っている。

ア[サティ]カミ a[sati]=kami あさってまで

]イく!カミ ]iks=kami いつまで

以下は動詞の例。

タローカ] く!ス! [ケ]カ[ミ] ウ[マン] ウリ。taro:=ka] kss[ke]=ka[mi] u[ma=N] uri. 太郎が来るまでここにいろ。ケは広い。ちょっと変かも。

○時間 限界点

ア[サティ]カ[ミ] イタス! クマタ。a[sati]=ka[mi] itas kumata. あさってまでに出すべきだ。出さなければならぬ。予定などを。

ゴジカミ [ンキ]タカー (ナラン)。gozi=kami [Nki]taka: (naraN). 5時までに帰らなくては(ならない)。

ぷ!スマカ[ミ] アッス。pssuma=ka[mi] assu. 昼までにやれ。マデ?マデニ?

○空間 範囲の終了点

用例はあると思われるが未確認。

○空間 移動の到着点

ウマカ]ミ [クー。uma=ka]mi [ku:. ここまで来い。

<参考>以下は格以外の形式である。

### 1. 15 ユー(マイ)形 比較 ヨリモ

くヌー] キーユ[ー] カテー [ウプ]カタム。k<sub>1</sub>nu:] ki:=ju:] kate: [upu]katam. きのうは今日より風は強かった。  
く]ナー キーユ[マイ] カティヌトゥ [ウプ]カタム。k<sub>1</sub>na: ki:=ju:=[mai] kati=nu=tu [upu]katam. きのうは今日よりも風がズ大きかった。強かった。

うウ]ユ[マイ] イくむスヌ ミウヌトゥ ンマカム。u<sub>1</sub>wu]=ju:=[mai] ik<sub>1</sub>m<sub>1</sub>su=nu miu=nu=tu Nmakam. 魚よりも動物の肉がズうまい。(魚に対する肉の方言はない。イクむスは動物。ミウは肉全般で、身か。)

### 1. 16 ンクイ形 比較 ★ヤとりたてが義務的か? 動詞コエ? そうだとしたら格は?

ア[ラー ンメ ウリンクイヤ ウ[タッフア] ナラテーン。a[ra: Nme uri=Nkui=ja u[taffa]l narate:N. 私はもう

これ以上はふとらない。意志

ウ[リンクイヤ ッファ]イテン。u[ri=Nkui=ja ffa]ite:N. これ以上はふとらない。意志

### 1. 17 トウ形 並立 ★「や・とか」対応形は？

共通語では限定的な「と」と非限定的な「や・とか」の区別をもつが、さいごの例のように非限定的な例文にも「と」が使用されている。あらためて確認が必要である。

カズコ[トウ] ハナコー [トウm]カラ。kazuko=[tu] hanako: [tum]kara. 和子と花子は友だちだ。

ウリトウ] ウレー [ユヌ ク!トウ。uri=tu] ure: [junu k!utu. これとこれはおなじだ。

ウリ[トウ] クリトウ [キタ]ティ。uri=[tu] kuri=tu [kita]ti. これとこれと違う。

ファイシ!ティー] ネイvティ[カー イントウ] マユトウ [ユ]ヌ ク!トウ。faisjiti:] nivti[ka: in=tu] maju=tu [ju]nu k!utu. 食べて寝るだけなら、イヌとネコとおなじだ。

### 1. 18 ティ形? 引用

～に相当する引用の形式のなにもつかない語形は未確認。これまでのところ、ja とりたて形とみられる以下の例のみであり、融合以前の語形は不明。ja とりたて形で～εになるのは短母音iのばあいだが、この語形も～tiでいいか。共通語ではト格と引用のトとの関連が問題になるが、この形が引用形だとしても、この方言でのトウ格との関連性はうすそうである。

ウレー イク!テー] ネー[ター] イティン。ure: iks=te:] ne:[ta:] itiN. これはいつとはなしには出ない。

(ikad. ipe:m ikate:mpe:m ti:d. u airi:tai 行くとか行かんとか話していた『琉球の方言』1977 p.171)

つぎの例の述語動詞は伝聞の意味をふくみ、融合した伝聞形になっているように見える。音声的には動詞の引用形～ti と動詞イウとの融合にも見えるが、そのばあい、本動詞イウ(アグナ/aγuna・言うな)との関連が問題になるだろう。

キーヤ] タローヤ サキー ヌ]マ[ティッタ。ki:=ja] taro:=ja saki: nu]ma[titta. きょうは太郎は酒を飲むそうだ。

### 2. 名詞のとりたて形式

稿をあらためる。

★注: ja とりたて形でも同様の融合をおこす。

海は: im+ja > imma (im=ma ではない)、新聞は: siNbuN+ja > siNbunna (siNbuN=na ではない)

ただし、海も: im+mai > im=mai、新聞も: siNbuN+mai > siNbuN=mai [sjimbummai]

本稿は白馬日本語研究会合宿(2016/08/23～25)で発表した「宮古大神島方言の格ととりたて<素描>」をてなおしたものである。